

整理番号		事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者
270									

事業名	広報紙発行事業					担当課	秘書広報課			
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち					担当係	広報広聴係		
施策項目	3	市民参画・協働					計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度		
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進					事業区分	直営		
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	2	1	3	広報広聴費					
目的と方針【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。									
事業概要【PLAN】	行政と市民をつなぐ架け橋、市民とのコミュニケーションメディアとして、毎月第4木曜日に広報紙を発行します。									
対象【PLAN】	市民				意図【PLAN】	市からのお知らせや地域の情報などを、定期的にわかりやすく知ることができ、行政に対する信頼、理解や協力などを得ることができる。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	定期的な発行。必要な情報が広報紙に分かりやすく掲載されていると感じる市民の増加。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		2,254	2,059	2,500				
	一般財源	千円		11,365	9,383	10,737				
	事業費合計	千円		13,619	11,442	13,237				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
広報紙の配布する世帯数の割合	%	実績値が目標値以下となること	目標値	90.8	90.6	90.4	90.2	90.0		
			実績値	90.3						
			達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				デジタル媒体で情報を見ることができない市民（特に高齢者など）が一定数存在するため、紙媒体での情報発信は必要不可欠である。確実に市民の手元に届くツールとして重要性は高く、事務事業の優先度も高い。					
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				市民協働推進の観点から、伝えたい市の取り組みを特集として掲載した。また、市民が登場するコーナー（まちのキラリ、リレートーク）を掲載したほか、祭りなど地域の活動を取り上げ、市民との一体感の醸成に努めた。					
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				広告を積極的に入れることで、自主財源の確保に努めた。時間削減の観点では、原稿提出様式の文字数を決めるなど、各課から提出される原稿を整理し、編集にかかる負担を軽減する余地がある。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		広報紙は保存性に優れ「読み手が情報を発見する」特性があるため、自治体広報の伝達手段として内容の充実を図る。あわせて電子版広報紙の周知を強化し、他の電子媒体での発信を検討するなど、デジタル対策を進める必要がある。						

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	市長への手紙事業					担当課	秘書広報課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち				担当係	広報広聴係
施策項目	3	市民参画・協働				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	2	1	3	広報広聴費		

目的と方針 【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	広く市民の意見、要望等を聴くため、また、市民の要望を市政に反映させるため、市長への手紙受付、回答を行います。
----------------	---

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	市民との協働による住みよいまちづくりを目指し、市民の声を市政に反映させる。
--------------	----	--------------	---------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市政への質問、要望等の内容・課題等を検討することで、業務改善が図られると同時に、不随する業務への波及効果もあり、結果的に市民サービス度の向上につなげる
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	167	149	128			
	事業費合計	千円	167	149	128			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
年間の市長への手紙の受付数	通	実績値が目標値以下となること	目標値	190	180	170	160	150
			実績値	192				
			達成率	99.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市民が市政への意見や要望を伝える重要な制度であり、行政においても、市民の意見を直接知ることができる貴重な機会である。例年200件ほど要望や意見が届いていることから必要な事業であるといえる。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市長への手紙で寄せられた意見に基づき業務の改善を図ったり、要望に基づき事業を組み立てたりする機会となる。市民が求める回答通りには進まない案件も多いが、市民サービス向上のために有効な手段である。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	市長への手紙を広報紙綴じ込みにしていることで印刷製本費を抑えている。業務の迅速化のため、各部署で個別対応が可能な案件は個別対応で進めるなど、時間削減の工夫をしている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市民の意見や要望を聞ける貴重な機会である一方で、同じ人が同じ内容を繰り返す（ハードクレーム）手紙もみられ、対応に時間を要するケースが増えている。ハードクレームへの対応方法を定めるなど、検討の余地がある。
------------	----	-------------------------	---

整理番号		271 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	ホームページ運用事業				担当課	秘書広報課				
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち				担当係	広報広聴係			
施策項目	3	市民参画・協働				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進				事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	2	1	3	広報広聴費					
目的と方針【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。									
事業概要【PLAN】	デジタル社会に対応した即時性のある情報の発信を行うため、ホームページの運営管理、SNSでの情報発信を行います。									
対象【PLAN】	市民				意図【PLAN】	HPで行政情報を入手し理解してもらい、生活を便利で豊かにしてもらう。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・見やすいページの作り方を職員が習熟する ・見やすくなったホームページへのアクセス数が増加									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	0				
	一般財源	千円		2,174	2,174	2,174				
事業費合計		千円		2,174	2,174	2,174				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
月平均のホームページのアクセス数		回	実績値が目標値以上となること	目標値	112,400	116,800	121,200	125,600	130,000	
				実績値	129,375					
				達成率	100.0%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				デジタル社会に対応するため、HPの充実とSNSでの情報発信は不可欠であり、市民がいつでも必要な情報を探せる状態を作る上でも、HPの充実は必要である。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				特にSNSにおいてイベントやスポーツ、地域行事などの情報を積極的に発信することで、距離の近い市民協働の媒体として認知してもらい、行政情報を受け取ってもらいやすい環境を作っている。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				SNSでの発信は無料のため、費用をかけずに情報発信ができています。開催告知はHPやSNSに載せるが、実施報告は各課とも載せない場合が多く、秘書広報課がフォローしている状態なので、各課の協力を得て効率的な情報発信を進める必要がある。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		SNSでの各課からの発信が増えており、誘導先としてHPの掲載も重視されている。一方で、HPの分類が十分でなく探しにくいページが存在したり、「重要なお知らせ」に緊急度の低い情報が掲載されるなど、不親切なページも多数存在する。CMS操作研修に加え、掲載ルールやコツも職員に伝えていく必要がある。						

整理番号		275				事務事業評価表 令和5年度実施事業				部長	課長	係長	担当者				
事業名		総合計画推進事業				担当課		総合政策課									
基本目標		6 みんなでつくる協働のまち				担当係		経営戦略係									
施策項目		3 市民参画・協働				計画期間		令和5年度～令和7年度									
主な取組		3 多様な分野における参画・協働の促進				事業区分		一部委託									
予算科目		会計 款 項 目				大事業											
		1 2 1 8				総合計画推進事業（自治体経営）											
目的と方針【PLAN】		市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。															
事業概要【PLAN】		総合計画に掲げる施策に対する市民意識を分析するため、市民に対し経常的にアンケート調査を実施し、まちづくりに反映させます。															
対象【PLAN】		①市民 ②総合計画				意図【PLAN】		①市民が伊達市を自分の街と感じ、今後も定住したいと思う。 ②総合計画に掲げる将来像の実現に向けたまちづくりが推進されている。									
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		総合計画の進捗状況を適正に管理され、効果検証が行われている。															
事業費【D0】		年度単位		04年度（実績）		05年度（実績）		06年度（予算）		07年度（予算）		08年度（予算）		09年度（予算）			
財源内訳	国庫支出金		千円		0		0		0								
	都道府県支出金		千円		0		0		0								
	地方債		千円		0		0		0								
	その他		千円		0		0		0								
	一般財源		千円		9,125		2,242		3,000								
事業費合計		千円		9,125		2,242		3,000									
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】																	
指標名		単位		達成条件		区分		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
アンケート調査の設問で「今後も伊達市に住み続けたい」と回答した市民の割合		%		目標値が実績値以上となること		目標値		85.0		85.0		85.0		85.0		85.0	
						実績値		80.9									
						達成率		95.2%									
(2) チェック項目による評価【CHECK】																	
		評価視点						評価の結果									
必要性		・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか						総合計画に掲げる施策等に対し、アンケート調査で市民の満足度を把握して事業に反映させることで市民サービスの質を向上させる必要があることから、市民ニーズ、社会的需要の優先度は高い。									
有効性		・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか						各施策の達成状況を把握するため、市民アンケートを実施し、施策に反映させることで市民満足度に繋がる。									
効率性		・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか						・アンケートの共通設問を最小のものとし、印刷や分析にかかるコストの削減や回収率の向上に努めた。 ・令和5年度より書面回答の他にオンライン回答を導入したことで作業時間の削減や回収率の向上に努めた。									
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】																	
今後の方向性		維持		事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		・第3次総合計画の開始に合わせ、各施策の市民満足度をアンケートの調査項目に取り入れることで、現在の行政運営の強弱を分析した。 ・現状はアンケート調査結果を行政運営に活かしていなかったため、次年度以降は活かすような取り組みが必要である。											

整理番号 273					部 長 課 長 係 長 担当者				
事務事業評価表 令和5年度実施事業									
事業名	シティプロモーション推進事業				担当課	秘書広報課			
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			担当係	広報広聴係			
施策項目	3	市民参画・協働			計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進			事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	1	2	1	3	広報広聴費				
目的と方針【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。								
事業概要【PLAN】	将来的にともに地域を支え、継続し発展させていくため、市民のシビックプライドの醸成、市内外に担い手、支援者、応援者を増やし、市の魅力を発信します。								
対象【PLAN】	市民			意図【PLAN】	市内外に地域づくりの担い手を増やし、地域独自の価値・魅力を発信する活動を通じて、地域の持続的な発展につなげる				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・本市の真の魅力を理解し、共感してもらう人たちを増やす ・新たな地域資源の掘り起こしなどによるシビックプライドの醸成 ・市の魅力やブランドメッセージの効果的な発信								
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		1,405	1,621	1,740			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		5,813	4,635	4,062			
事業費合計		千円		7,218	6,256	5,802			
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市の応援者の数（伊達なふるさと大使、伊達な宣伝部長、だてフォト部）		人	実績値が目標値以上となること	目標値	32	44	56	68	80
				実績値	46				
				達成率	100.0%				
(2) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				人口が減っていく中で、地域を継続的に発展させるために、シビックプライドの醸成や担い手の育成は必要不可欠である。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				行政では発信が難しい店の情報や地域密着の情報を発信してくれる担い手（宣伝部長やフォト部）の存在は大きい。また、同じ市民目線での発信は市民の目に留まりやすく、信頼度も高いといえる。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				自発的に魅力発信をしてくれる担い手の活躍により、市が予算と時間を割いても成しえない、幅広い情報収集と魅力発信ができている。				
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		担い手とおしの交流を進めたことで、情報交換が盛んになり、フォト部が作成した動画に宣伝部長が出演するなど、新しい魅力発信の形も生まれている。「伊達市であそばね会」などの交流を今後も進め、担い手や交流人口の増加を図る必要がある。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	情報公開・個人情報保護事務					担当課	総務課				
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち					担当係	文書法規係			
施策項目	3	市民参画・協働					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	2	情報共有・情報発信の推進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	2	1	2	文書管理費						

目的と方針 【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	情報公開制度及び個人情報保護制度の周知、情報公開・個人情報保護審査会を開催します。
----------------	---

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	・市民が安心できる行政情報及び個人情報の適正な管理 ・行政情報及び個人情報の開示請求に対する適正な処分の実施
--------------	----	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・ 行政情報の適正な保存及び廃棄、個人情報の取扱いに関する安全管理措置 ・ 行政情報及び個人情報の開示請求に関する担当者向け研修会の開催、開示請求者に対する丁寧な説明
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	103	0	686			
	事業費合計	千円	103	0	686			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
審査請求件数	件	実績値が 目標値 以下と なること	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	2				
			達成率	0.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	法令等に基づく事務のため必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	情報公開制度及び個人情報保護制度は、市民が安心し、開かれた行政を推進していくために有効である。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	電子決裁の拡大による情報のデジタル化を推進し、文書管理の効率化を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	審査請求が２件あったが、当該請求に係る処分については、請求者に対し納得のいく説明をすることにより審査請求までには至らなかった可能性もあるため、市民とのコミュニケーションを取りながら丁寧に説明していくことが課題である。
------------	----	-------------------------	--

整理番号
276

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	指定管理者制度の運用					担当課	公有財産管理課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち				担当係	マネジメント推進係
施策項目	3	市民参画・協働				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	3	多様な分野における参画・協働の促進				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	2	1	6	公共施設配置適正化事業		

目的と方針 【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。		
事業概要 【PLAN】	施設の管理運営主体を民間事業者とすることで、民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図ります。		
対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	民間事業者の能力を活用し、市民サービスの向上を目指します。
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	指定管理者制度の導入を希望する施設所管課に対し、導入に向けたフォローアップを継続的に行う。指定管理期間満了の公共施設の指定管理者募集手続きを行う。指定管理者制度の適切な運用のため、随時助言等を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		0	0	0			
	事業費合計	千円		0	0	0			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
指定管理施設	施設	実績値が目標値以上となること	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
			達成率	100.0%				

(２)チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	社会体育施設、宿泊施設、公園、観光施設への指定管理制度導入により、自治体直営に比べ、より良いサービスの提供が行われている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	未導入施設について施設所管課から導入希望が上がっている。導入目的や要求水準、民間事業者の存在、施設管理料削減の見込みなど、導入に向けた整理を施設所管課とともに行う。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	指定管理者制度をより分かりやすくするため、運用指針の改定を行った。

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今年度、２施設（まちの駅やながわ、掛田まちなかサロン）について公募を行い、事業者によるプレゼンテーション、選定委員による審査、採点を初めて実施することができた。

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	包括連携協定管理業務					担当課	総合政策課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち				担当係	政策推進係
施策項目	3	市民参画・協働				計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	3	多様な分野における参画・協働の促進				事業区分	その他
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	-	-	-	-		

目的と方針 【PLAN】	市民や市民活動団体、民間企業等の多様な主体と行政とが知恵と力を合わせた協働のまちづくりを進めるため、情報共有・情報発信を行いながら、多様な分野における連携・協働体制の構築を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	大学や民間企業等と市が多様な分野において連携した取組を進めるために締結する「包括連携協定」の事務手続の窓口となり、新たな事業者等との連携を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	事業者等	意図 【PLAN】	市が事業者等と多様な分野で包括的な協力関係を築き、双方の資源を有効的に活用した協働による取組を推進することで地域課題の解決を図る。
--------------	------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	保活連携協定を締結し、①年度ごとの実績報告書の提出 ②事業者等からの連携事業提案 ③市による連携事業提案 ④提案結果のフィードバック
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	0	0	0			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
連携協定を締結する団体数 (累計)	団体数	実績値が目標値	目標値	4	5	5	6	9
		以上と	実績値	5				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	・ 包括連携協定締結の有効期限は3年間のため、市民ニーズや社会的需要について変化があった場合、成果を振り返り継続を判断する
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	・ 各学校との連携によりボランティア活動や探求授業等において社会貢献を図れた。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・ ガイドラインに沿った事業展開のため、特に変化はなし。 (各課への照会回答により時間の増減あり)

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	包括連携により個別の分野に限定せず、多岐にわたる分野において「包括的」取組が進められた。
------------	----	-------------------------	--